

一部の生命保険会社より一般勘定の予定利率について引き下げを行うとの発表がありました。

- 一般勘定と予定利率とは？
- 予定利率引き下げを行う理由とは？
- 今後予想される影響について
- ロッキーとピンキーの仲良しコラム ～DBからDCへの移行とは？～



低金利環境の長期化により、一部の生命保険会社から確定給付企業年金(DB)向けの運用商品として提供している「企業年金保険」を運用する“一般勘定”の予定利率を、1.25%から0.25%へ引き下げるとの発表がありました。

本NEWSでは、予定利率の引き下げにより、今後どのような影響があるのかについて考えていきます。

1. 一般勘定と予定利率とは？

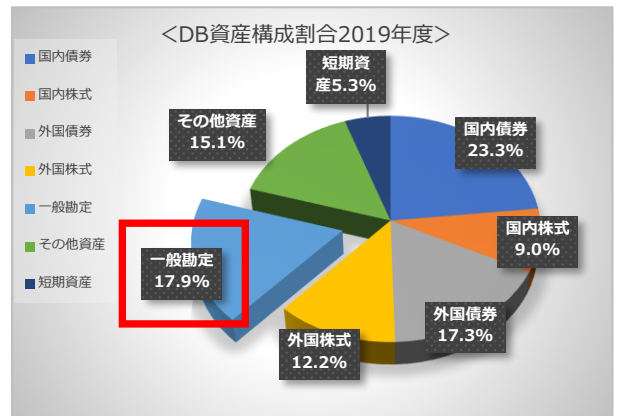


“一般勘定”とは、保険会社の商品で、保険料を管理・運用する勘定の一つです。

運用の結果にかかわらず、保険会社が元本と一定の運用利回り(予定利率)を契約者に約束しており、保険会社が運用のリスクを負います。

確実な運用成績が見込めるため、企業が確定給付企業年金(DB)の資産を保全するための重要な運用先になっています。(参考：イメージ図)

<参考：イメージ図>



※企業年金連合会「企業年金実態調査結果(2019年度概要版)」を元に作成



“予定利率”とは、保険会社が運用するときに約束する利率のことをいいます。

企業年金や個人年金等から預かった保険料を運用する際、最低保証される利率であることから、「保証利率」と呼ばれることもあります。

2. 予定利率引き下げを行う理由とは？

世界的な金融緩和、マイナス金利政策の長期化等により、資産運用で高い利回りを確保するのが難しい状況が続いており、生命保険会社にとって、一般勘定のように高い利回りを保証している商品は非常に重荷となっていることが考えられます。

3. 今後予想される影響について

確定給付企業年金(DB)の運用は、国内外の債券や株式、一般勘定等で行われています。

DBは、企業が拠出から運用、給付までの責任を負う必要があることから、リスクを抑えつつもリターンを求める運用を行わなければならない、元本と利回りが保証される一般勘定の役割は非常に重要です。2019年度の企業年金連合会に加入している企業におけるDBの平均的な資産構成割合は一般勘定が17.9%となっており、一般勘定の予定利率が引き下げられることによって、DB導入企業では下表の対応をとることが想定されます。

① 資産配分を見直す	株式など、リスクは高いが、より利回りが期待できる資産への配分割合を増やす。
② DBから確定拠出年金制度(DC)への移行	資産運用の責任等が企業負担とならない確定拠出年金制度(DC)へ移行する。
③ 一般勘定を代替する商品に切り替える	生命保険会社は、一般勘定の予定利率を引き下げた後の代替手段として、一般勘定と運用実績に応じて変動するタイプの「特別勘定」を組み合わせた商品を販売すると発表しているため、一般勘定での運用部分を代替商品に切り替える。
④ DBの掛金を引き上げる	予定利率の引き下げによる利回り低下を補うために、掛金を引き上げる。

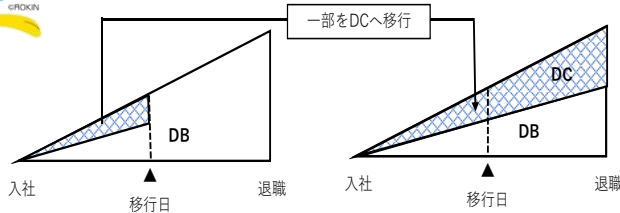


聞いてよロッキー！
会社のDBの一部をDCに移行するって話を聞いたんだけど、どういことなのかな？

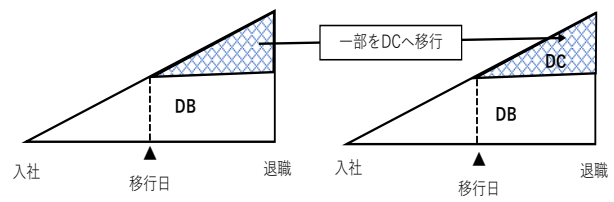
DBは制度全体やその一部をDCに移行することができるんだよ。
例えば、「60%はDBとして残しておき、残りの40%はDCに移行する」なんてこともできるんだ。
DBからDCへの移行方法は、主に次の2通りがあるよ。
①過去分を含めた移行・・・これまでDBとして積み立てた資産(過去分)も含めてDCへ移行
②将来分だけ移行・・・過去分はそのままDBに残して、これから積み立てる分だけDCへ移行



① 過去分を含めた移行



② 将来分だけ移行



- ① ①の過去分は一括でDCに移行されるから、過去分の額が多い時は要注意！！
- ② 過去分を移行する際、投資信託に多く配分すると、一括で多くの投資信託を購入することになるから、気づかぬうちに大きなリスクをとっている可能性が・・・
- ③ そんな時はいったん元本確保型の商品を選んで、徐々に投資信託へ配分(スイッチング)していった方が安心かな。



いろんなパターンがあるんだね！DBの一部をDCに移行するって以外、詳しい話は聞いてないなあ・・・
組合としてはどう関わっていくのかな(´Д`;))

制度の移行については、事業主と組合の労使合意が必要になっているんだ。
DBの積立の状況によっては、移行の際に給付額が減額となる可能性もあるから、会社の企業年金制度がどうなっているのか調べてみるとか、積極的に関わっていくことが必要だね！



会社の企業年金制度かあ・・・
そもそも年金のこととか詳しく知らないから、調べてみてもわからないかも(´ω´)

ろうきんが企業年金制度についての研修会もやってくれるみたいだから、相談してみたらどうかな？



ろうきんの勤労者の
資産形成に係る役割発揮宣言
<https://www.rokinren.com/kigyonenkin-support/declaration/index.html>



<ろうきん>は労働組合の企業年金・退職金を守る取組みを支援しています。
制度研修会・iDeCoへの移換手続きサポート等<ろうきん>にご相談ください。
【労働金庫連合会 営業推進部】Tel:03-3295-9341 Fax:03-3295-8039
Mail:suishin@rokinbank.or.jp

注)本資料は情報提供を目的としており、加入者等に対する特定商品の推奨・助言を目的としたものではありません。
信頼できると考えられる情報に基づき作成しておりますが、情報の正確性、完全性が保証されているものではありません。